

○始業式・花まつりの様子と生徒の感想



新任の先生方による灌仏



山本昭弘僧正による記念講話

☆生徒から講師の方へのお礼と感想

2年 Y.Rさん

4月8日はお釈迦様の誕生をお祝いする花まつりです。ご法話では、私たちも新学年となって心を新たに、未来に向けて夢を持つことが大切なのだとお話しいただきました。

夢や憧れを持つことで、勉強など様々なことに意欲を持って取り組むことができます。だから私の目標とする憧れの人に近づくように努力を重ねることで、私自身も成長したいです。しかし実際は、できない理由を正当化する「呪いの言葉」を言うことがあって、思い通りにはいかないことにとても共感できます。挑戦してもいないのに、偏見で「私にはできない、そんなの無理だ」と決めつけてしまう。

ご法話の「大谷選手の二刀流」のお話を伺って、このままの考えではいけないのだと気づきました。これからは、夢や憧れを持ちながら何事にも挑戦していきたいです。

2年 T.Mさん

山本住職は今日の法話で「目標を決めるには、自分の好きなことと得意なことから探せばいい」と仰っていました。私はこの言葉をヒントにして、もう一つ「目標を見つけるポイント」を思いつきました。それは、好きなことと得意なことをベン図にまとめて、二つの共通部分が私の強みになるのではないかと、ということです。自分の強みに気づけたら、今まで以上に私自身の特徴や長所・短所が明確になり、目標を達成するための計画が立てやすくなるのではないかと考えました。

2年 A.Mさん

ご法話の「自分の限界を、さまざまな事に左右されてはいけない」という言葉を聞き、納得した。山本住職がご指導下さったのは、大学進学にあたって自分の文理選択を決定することは大切なことだが、一方でこれは自分の将来を狭めるものでもある、ということだ。たとえ文理を選択したとしても、高校2年生から方向性を固定化し限られた教科や科目だけを勉強するのではなく、もっと視野を広げて、興味深い様々なことを積極的に自分から勉強していきたいと思った。

2年 K.Mさん

花まつりのご法話は、2年生に進級した私にとってもタイミングの良い内容だった。これからは進路についてさらに具体的に考える時期となったが、私は自分が進学したい大学や将来の夢がまだ決まっていない。自分には向いていないのではないかと、お金がかかるからやめておこうか、と諦める理由ばかりを考えていた。ご法話のWBC日本代表の選手たちの活躍や大谷選手のエピソード、山本住職ご自身の体験談などをうかがって、諦めの言葉（呪いの言葉）がどれほど自分の可能性を潰してしまうのか、とても良くわかった。やってみないとわからないことは山ほどあり、取り組む前に決めつけるべきでないと強く感じた。

今後は、自分の目標を大きく掲げ達成できるように全力を尽くしていきたい。